

経営改善計画期間中の具体的改善策と実施時期等

項目	課題	実施期間	具体的な改善策
	利用者の能力向上	6ヶ月～1年	少しずつ取り組む
	利用者の賃金改善	6ヶ月～1年	作業効率が改善されると賃金の抑制ができる
	利用者の獲得	6ヶ月～1年	能力の高い利用者を育成する

(注) 経営改善を行う項目(例: 営業体制の強化、経費削減、販路拡大等)を記載するとともに、課題を記載し、その課題に対応するための実施期間と具体的な改善策をそれぞれ記載する。適宜欄は追加する。

(計画期間中の見込額)

令和4年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
収益	就労支援事業収益													
	就労支援事業活動収益計	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	12,000,000
費用	就労支援事業販売原価													
	期首製品(商品)棚卸高													
	当期就労支援事業製造原価													
	当期就労支援事業仕入高													
	期末製品(商品)棚卸高													
	就労支援事業販管費													
	就労支援事業活動費用計	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000	1,500,000
	就労支援事業活動増減差額	875,000	875,000	875,000	875,000	875,000	875,000	875,000	875,000	875,000	875,000	875,000	875,000	10,500,000
	支払い賃金総額	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	8,640,000

(前年度実績)

令和3年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
収益	就労支援事業収益													
	就労支援事業活動収益計	108,664	649,304	591,220	690,870	964,484	965,694	1,121,531	880,290	1,225,580	653,228	768,464	844,672	9,464,001
費用	就労支援事業販売原価													
	期首製品(商品)棚卸高													
	当期就労支援事業製造原価													
	当期就労支援事業仕入高													
	期末製品(商品)棚卸高													
	就労支援事業販管費													
	就労支援事業活動費用計	100,554	118,227	109,687	100,963	113,433	126,134	88,131	134,523	81,118	154,558	133,920	146,853	1,408,101
	就労支援事業活動増減差額	8,110	531,077	481,533	589,907	851,051	839,560	1,033,400	745,767	1,144,462	498,670	634,544	697,819	8,055,900
	支払い賃金総額	776,841	797,503	763,278	787,316	827,424	691,815	754,318	596,298	812,325	565,184	602,965	695,200	8,670,467